



府中市議会議員 須山たかし

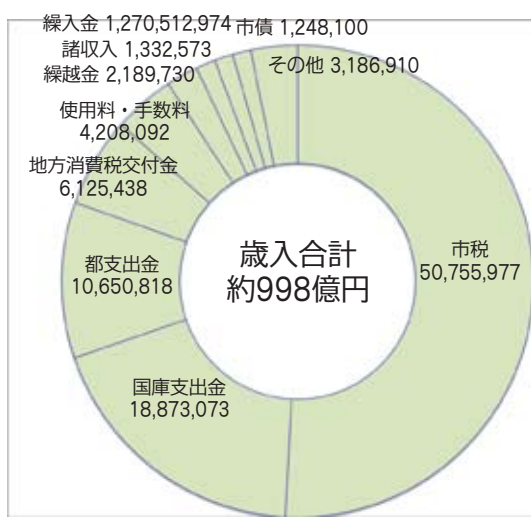
【発行】市民フォーラム
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-2-4

平成27年度決算審議終了。

9月2日～9月30日の29日間の日程で行われた第3回定例会、平成27年度の決算審議等が行われました。

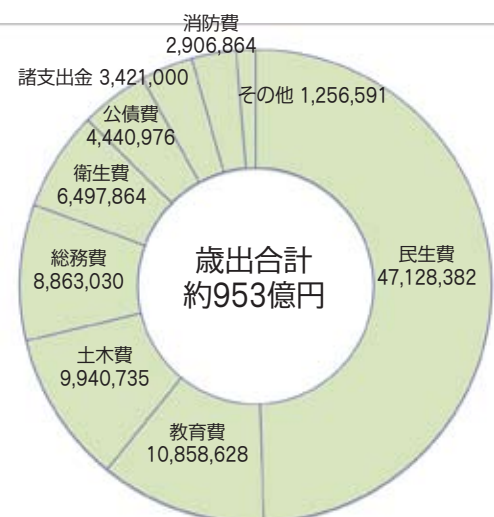
第3回定例会(9月2日～9月30日開催)

●平成27年度一般会計決算



歳入合計	¥99,841,227,269
市税	¥50,755,977,722
国庫支出金	¥18,873,073,446
都支出金	¥10,650,818,188
地方消費税交付金	¥6,125,438,000
使用料および手数料	¥4,208,092,262
繰越金	¥2,189,730,575
諸収入	¥1,332,573,680
繰入金	¥1,270,512,974
市債	¥1,248,100,000
その他	¥3,186,910,422

歳出合計	¥95,314,073,752
民生費	¥47,128,382,047
教育費	¥10,858,628,394
土木費	¥9,940,735,489
総務費	¥8,863,030,065
衛生費	¥6,497,864,826
公債費	¥4,440,976,472
諸支出金	¥3,421,000,000
消防費	¥2,906,864,881
その他	¥1,256,591,578



27年度は第6次府中市総合計画前期計画の二年目であり、高野市長一期目の最終年。歳入面では前年よりも市税収入が1.3%増になるものの、特定の金融機関による税収分が大きいこともあり、継続した増収が期待できない中、

歳出では依然として民生費等の支出が増加傾向にあります。このことを真摯に受けとめて、5年、10年と、中長期的な視点に立った市政運営が課題です。市民フォーラムは27年度決算案に賛成いたしました。

●須山たかしの主な質疑

【副校長校務改善支援事業】

Q.27年度から始まった教員の負担軽減を目的として臨時職員を配置する事業であるが、その効果は？

A.教員でなくても、できる業務を副校長がマネジメントして実施。副校長の事務作業に係る負担が軽減され、結果、それにより生み出された時間を活用し、校内巡視や授業観察をする時間が従前に比べ増え、結果、校内の安全管理や教員の指導力向上に効果があった。

たかしの眼

事務作業の多さで適切な指導が行き届かないという問題が起きていて、府中市が独自にこういった支援を始めたことはとても評価出来ます。さらに現場の声を聞き、府中っ子が健やかに育つ様な環境作りが必要ですね！



【教員の勤務時間に関して】

Q.現状はどの様に管理・把握をしているか？

A.勤務時間開始時刻までに、本人が出勤簿に押印し、主に副校長が確認する形となっている。

Q.月の時間外労働が100時間を越える教員を把握しているか？

A.現在は、教員の勤務様態の特殊性により、正確な退勤時刻の管理が必要なく、時間外労働時間の把握をしていないが、ワークライフバランス実現に向け、様々な課題があることは認識している。

たかしの眼

教員は正確な勤務時間の管理が必要ないというのは文科省が誤解であるという見解を示している。その上で子どもたちが適切な指導を受けられる様に先生方の労働環境を整備していかななくてはなりません！

Q.どの様な方針で値上げをしていくのか？

A.待機児童解消は、市の最重要課題の一つであり、これまでも施設整備をはじめとした待機児童解消策を進めてきたが、待機児童の解消には至っておらず、今後も、必要とする方が円滑に保育所を利用できるよう定員拡大に向けた施設整備を行っていくなどの様々な保育施策に取り組んでいく。

保育に関して

Q.保育料値上げに関して、保護者の方への周知については？

A.6月の現況届の際に改定の考え方を、9月に改定後の利用者負担額の一覧表と改定の考え方について園を通じて個別に知らせた。また、園だよりへのお知らせの掲載を各園にお願いしている。

● 「差別に関して」

今年の4月に「障害者差別解消法」が施行され、障害に対して社会の「在り方」を問う法律が施行された年となる一方で、「相模原障害者施設殺傷事件」という許されざる事件が起きた。その動機から完全なるヘイトクライムであり、法律の理念と社会のありようと余りにも逆行しています。そこでこれらに関して市の方針を問いました。

Q.障害者差別解消法に関して、府中市の取り組みは？

A.障害者差別解消法対応要領の策定に向けた準備や、今年度から新人職員を対象に不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供など、障害者差別解消法に関する理解を深める研修も実施している。

Q.盲導犬を連れた男性が線路に転落するという事故があったが、今後点字ブロック等を敷設していく際に当事者の声はどの様に取り入れていくのか？

A.障害者差別解消法の合理的配慮を的確に行うためにも重要なことと認識を。特に公共施設については、多くの視覚不自由者の利用が想定されるため、整備をする際、具体的な敷設場所など視覚不自由者の御意見も踏まえたものとするよう、事前事業の中で事業者等に伝えることを検討していく。



Q.今回の事件を受けて、どのような府中市を目指すべきか？

A.府中市障害者計画において「障害のある人もない人も、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現」を基本理念として掲げている。また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針」には、日常生活や社会生活における障害者の活動を制限し、社会への参加を制約している社会的障壁を取り除くことが重要であるとされています。今回のこの事件を受け、この基本理念や基本方針が示す共生社会の実現に向け、社会的障壁を解決しながら、重い障害があっても住みなれた地域で安全・安心に、主体的に暮らしていけるまちづくりをさらに進めていくことが重要であると認識している。

この夏、毎年放映される「愛は地球を救う」を掲げる24時間テレビの裏で、NHKの「バリバラ」という番組が、「笑いは地球を救う」というタイトルで放送されました。障害を持つことが同情されることでなく、普通なことだというノーマライゼーションに基づいた番組構成でした。どちらの番組が良いと言うのではなく、障害のある人たちがともに生きることを理解していくという点でどちらの立場も有効であると思います。差別とは無知・無理解から産まれます。まずは知ること。そして全庁にわたり、理解を進めていくことが大切です！



● 武蔵野台駅前の点字ブロック

昨年、武蔵野台駅前の点字ブロックの利便性が悪いと市民の方から要望があり、市の担当課に問い合わせた際、迅速に対応して頂きました。一方で初めから当事者の声を聞いて敷設をすれば、二度手間にならずにすみ、ムダな予算を使わずに済んだかもしれません。当事者の声をしっかりと聞くことで、誰もが安心して暮らせるまちづくりへとつながるのではないのでしょうか？



新しく敷設された武蔵野台駅前の点字ブロック駅へのアクセスにムダがなくなりました！

● 議会改革検討委員会

議会改革検討委員会が設置され、様々な議論がなされています。須山も委員会メンバーとして参加しており、この度、予算・決算特別委員会と議会運営委員会の議事録作成・公開を進める方針になりました。

さらに、本会議のインターネット中継の質向上や各委員会のインターネット中継も実現の方向にあります。

また、陳情で出されていた議会基本条例の制定に関して、市民フォーラムとして、導入する立場で、提案説明を行いました。

これからも市民に開かれた市議会を目指し、様々な改革を進めて参りますので、皆さまからのご意見もお聞かせ下さい！

平成28年第4回府中市議会定例会(12月議会)は

12月5日(月) 開会予定です。

今年最後の議会ですので、是非傍聴に要らして下さい！

また、府中市議会では本会議のインターネット配信を行っております。下記URLからアクセスして下さい！

府中市議会HP <http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

須山たかしプロフィール



1980(昭和55)年11月6日生まれ(36歳)。府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト高野孟に師事(1期生)。大学卒業後、民間特許事務所に3年半勤務。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫(れんぼう)参議院議員の秘書を経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。

現在、基地等跡地対策特別委員会委員長 建設環境委員会委員 農業委員会委員 都市計画審議会委員 議会改革検討委員会委員 議会運営委員会委員 市民フォーラム所属

地域での主な活動

・公益社団法人むさし府中青年会議所会員・武蔵野府中ボーイズ名誉顧問

・けやき音楽祭2013JAZZinFUCHU実行委員長

TEL & FAX 042-307-8309 mail suyama1980@gmail.com

HP <http://suyamatakehi.jp/>

ご意見
お待ちしております！



「府中市議会議員 須山たかし」で検索

